

古着をポリオワクチンに

KMバイオ従業員 105人分、途上国へ



回収ボックスに古着を入れるKMバイオロジクスの従業員＝熊本市北区

KMバイオロジクス(熊本市)の従業員有志が、古着を集めてポリオワクチンを発展途上国に寄付する取り組みに初めて参加した。5日間で、105人分のワクチンに相当するTシャツ約2000枚を集めた。

参加したのは、総合リサイクル業の日本リユースシステム(東京)が運営する「古着deワクチン」事業。同社から回収キットを購入し、古着を集めて送る。キットの購入代金や、途上国での古着の売り上げの一部でポリオワクチンを寄付する仕組みという。

KMバイオの社会貢献や環境保全に取り組み「サステナブルなチーム(約60人)が、同社事業所内の食堂の出入り口などに回収ボックスを設置。10月25、29日に古着を集めた。

チームは近く、回収した古着を発送する。チームの一員で同社経営企画部の宇佐美美紀さん(38)は「女性誌に載っていたSDGs特集で事業を知り、社内に呼び掛けた。目標だった100人分のワクチンになり、うれしい」と顔をほころばせた。(清水映彩)